

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日 R5.6.28

担当 課名 長生き支援課

グループ名 長生き支援グループ

記入者名

1 事業概要

(1)事業名	地域介護予防活動支援事業	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	健康で安心して住めるまち(保健・医療・福祉の充実)		①会計区分	介護保険特会	
②大項目	高齢者福祉・介護保険		②財源区分	国庫補助	
③中項目	地域包括ケアシステムの構築		③予算科目	款	3 項 2 目 1
④施策	介護保険事業の充実		④予算事業名	地域介護予防活動支援事業	
⑤施策コード	5.4.4.4	掲載ページ	89	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・受託)	自治事務		①総合戦略 (該当事業名)	無	
②根拠法令	介護保険法				
③事業期間	開始	平成28年	10月から	終了	未定 年 月まで

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何の目的に行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)
地域の互助を踏まえつつ、年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを目的に実施する。	・介護予防サポーターの育成(養成講座の実施) ・介護予防に関する地域活動組織の育成及び支援

(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
全ての高齢者及びその支援のための活動に関わる者	介護予防に関する住民主体の通いの場は、週1回以上の開催を基本とし、開催箇所数は人口1万人に概ね10か所を目標として、地域の実情に応じて定めるとされている。自宅から通うことができる範囲内の公民館や自治会館、又は行政区単位の住民主体の通いの場ができる(いきいき百歳体操等)。		
対象数	11,601	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

高齢者人口の増加に伴い、今後ますます高齢者世帯や一人暮らし高齢者の増加が予測される。新型コロナウイルス流行により外出の機会が減り、高齢者の心身機能の低下が懸念される。今後、地域のつながりを大切に介護予防(住民主体の通いの場)を推進していく必要がある。その中で顔の見える関係ができ、見守り・支え合い活動へと発展する事が期待できる。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称 地域介護予防活動支援事業					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳						
報酬	0	0	0	0	0	
報償費	444	48	85	279	130	
需用費	1,272	794	8	103	11	
役務費	11	8	4	4	4	
委託料	4,952	3,856	4,608	5,076	5,260	
その他	0	0	0	0	0	
直接事業費合計	6,679	4,706	4,705	5,462	5,405	
(3)財源内訳						
国庫支出金	1,669	1,177	1,176	1,365	1,351	
県支出金	834	588	588	682	675	
地方債	0	0	0	0	0	
その他特定財源	3,342	2,353	2,353	2,733	2,704	
一般財源	834	588	588	682	675	
合計	6,679	4,706	4,705	5,462	5,405	
(4)補助金名	地域支援事業交付金(国・県)、地域支援事業支援交付金					
(5)人件費						
投入職員数	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
年間人件費	5,401	5,347	5,340	5,279	5,388	
(6)総事業費	12,080	10,053	10,045	10,741	10,793	
サービス量(人)	10,981	11,238	11,554	11,601	11,601	
サービス単価	1.1	0.9	0.9	0.9	0.9	
(単位)	千円/高齢者1人当たり					

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		地域介護予防活動支援事業				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名		目標値				
		実績値				
		達成率				
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	介護予防教室等参加者数 (総振目標指標p89) R7年度目標値 38,000人	目標値	人/年	18,000	25,000	30,000
		実績値	人/年	13,252	20,856	
		達成率	%	73.6	83.4	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(3) その他指標に現れない成果						
高齢者が住み慣れた地域で介護予防事業に取り組み、心身機能を維持・向上し、自立した生活を送ることができる。						
5 事業評価						
(1) 項目別評価						
評価項目		評価	評価理由	評価した理由を選択してください。		
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
					3 その他( )	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である	
						3 その他( )
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している	
2 他に有効な代替手段が見当たらない						
					3 その他( )	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	1	1 サービス単価は減少している	
					2 サービス単価を維持している	
					3 その他( )	
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	3	1 公平に分配されている	
					2 おおむね公平に分配されている	
					3 その他(実施地域に偏りがあるが、希望があれば支援可能。他地区へ参加も可能。)	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
					2 成果指標は、前年度より向上している	
					3 その他( )	
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	3	1 年度内に予定した事業は完了した	
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
					3 その他(コロナ禍での活動再開について支援し、実施地区が増えたため。)	
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を中止した地区もあるが、令和3年度中に介護予防サポーターフォローアップ講座を開催し、現在約17地区が活動を再開している。新規の介護予防サポーター養成講座や介護予防サポーターフォローアップ講座を継続して開催し、活動を支援していく。						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1) 一次評価 (担当課長)	(2) 二次評価 (政策推進課長)		(3) 最終評価 (町長)		
評価	1					
説明	地域のリーダーとなる人材を育成し、介護予防事業の充実、地域コミュニティの強化に繋げる。今後も推進する必要がある。					